

# 令和4年度 社会福祉法人石脇福社会 事業報告書

## 【総括】

世界的なパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症が初めて確認されてから3年以上にわたる長期間、世界中が未知のウイルスとの対応に翻弄されました。ワクチンも治療薬もない100年前に日本でも流行したスペイン風邪の惨状には至らなかったものの、7万5千人近くの命が奪われ、感染者の4人に1人に何らかの症状が残ったと言われています。

あらゆる社会活動と経済に大きな後遺症を残しながら、4年度末にはマスク着用のルールが緩和され、この5月8日には、重症化率と致死率が下がってきた事を受けて、季節性インフルエンザ並みの5類に分類されたところです。

この間、石脇福社会においても、感染拡大による休園やクラス閉鎖を繰り返しながら、非常時でも子育て支援を継続するという社会福祉法人の使命を全うすべく、役職員が一丸となって奮闘して参りました。この経験は、今後、各施設の運営をしていく上で、貴重な財産となり活かされていくと思われます。

コロナ禍も影響し4年度の出生者数は80万人を割り込むなど、少子化問題は深刻さを増し、50年後の人口は8,700万人まで減少するという見通しが示され、支え手である労働人口の減少が、社会保障制度の維持に留まらず、道路・水道などインフラ施設の維持管理への影響も示唆されています。

こうした中、当法人では、令和4年度までの年次別重点目標を定めた、第1次中長期計画の進捗状況を検証し見直しを図ったところです。

法人理念に基づいた経営の確立と明確化した目標の周知・理解については、まだ、全職員の共通理解には至っていないと思われることから、引き続き、経営方針、年間の保育計画、行事等と関連付けて更なる確認と周知を図る必要があります。

新たに検討を始めた認定こども園への移行については、メリットの有用性は認めるものの、県のサポートを2年間受けながら通常保育と並行して行う手続きの煩雑さ等が課題となり、当面は保育園として更に質の向上を目指していく事としたところです。

一方、職場環境の整備については、キッズビューが定着化するとともに、出勤簿の廃止によるタイムカードの本格運用を進め事務の軽減を図ってきたものの、打刻後の残業も見られるなど、根本的な業務の見直しが新たな課題になっています。

職員の定着化を目指す中での課題として、円滑な人間関係の構築や職員個々の達成感、自己肯定感を、どう高めるかについて、研修テーマとして取り組んで来ました。今後は、不安や悩み、失いかけている自信に対するきめ細やかなフォロー等、働きやすい職場づくりに向けた具体的な方策の確立が必要になってきました。

今後は、コロナ禍が明けた事により、外部研修も従来の集合型が増えることが予想されるため、ハイブリッドの専門研修を呼びかけるなど全職員の研修機会の確保に留意しなければなりません。

「持続可能な経営体制の確立」として、4年度に石脇東保育園の利用定員を見直し、この4月から90人定員でスタートしました。今後は、年度途中の見直しも視野に入れ適切な利用定員に努めて参ります。

減少し続ける入所児童数に対応し持続可能で安定した経営を目指すために、4年度において、石脇北保育園の統合と石脇東保育園の改築について、具体的なスケジュールの目安を示し、保護者にも徐々に発信をしているところです。また、数年後を見据えた職員の人事異動にも着手したところです。

さらに、保育士の不足は入所児童の受入に支障を来しており、ノンコンタクトタイムも十分に取れないなど深刻な状況で、ようやく見直しされる配置基準緩和（令和6年度予定）に向けた保育士の確保と併せて重要な課題となっています。

「財務の健全性」については、5年連続して経常収支の赤字が続いており、4年度は、電気料金の高騰や修繕工事等施設の維持管理費増大に対応するため、補助金等を最大限活用しながらも、各施設とも積立金の取崩で対応するなど深刻な状況が続いています。行政に対しても、こうした保育施設の窮状を理解いただき、独自政策としての支援を訴えながら、法人としても、着実な健全化計画の策定を目指しております。

「安心安全の管理体制確立」では、主任会議で各園の危機管理マニュアルを平準化する作業を行い、5年度には、非常時でも保護者を支援していくための、施設開所継続マニュアルの整備を予定しており、各施設でマニュアルの共有と運用が構築されることとなります。

「地域・関係機関との連携」では、ホームページの更新状況等にバラツキがあったことから、地域への唯一の発信手段として、ホームページの重要性を周知し、定期的な更新をすることが出来ました。さらに、選ばれる保育園としてのアピールに欠かせないコンテンツ編集の工夫については途上にあるため、引き続き、地域の方や入所を希望される保護者からも見てもらえるホームページづくりを目指し、複数の担当職員育成に努めなければなりません。

第2次中長期計画の策定に向けた検討委員会の取り組みは、役職員が一体となって今後の経営課題等を理解する絶好の機会となり、子どもはもちろん職員間の人権を常に意識した組織として、石脇福祉会が、質の高い保育所運営を目指していくという決意に繋がる1年であったと考えております。

## 【令和4年度事業の主な実施内容】

### ＜会務の運営＞

- |           |    |                         |
|-----------|----|-------------------------|
| 1. 定時評議員会 | 期日 | 令和4年6月29日               |
|           | 会場 | グランドホテル                 |
|           | 出席 | 評議員、理事、監事、園長 24名        |
|           | 内容 | 令和3年度事業報告及び計算書類等承認等承認の件 |

## 2. 理事会

- 【第1回】 期日 令和4年6月13日  
会場 職業訓練センター  
出席 理事、監事、園長 15名  
内容 (1) 令和3年度事業報告及び計算書類等承認の件  
(2) 令和4年度定時評議員会招集の件
- 【第2回】 期日 令和4年11月29日  
会場 グランドホテル  
出席 理事、監事、園長 15名  
内容 (1) 業務執行報告承認の件  
(2) 第1次資金収支補正予算(案)承認の件
- 【第3回】 期日 令和5年2月27日  
会場 職業訓練センター  
出席 理事、監事、園長 15名  
内容 (1) 施設長選任の件  
(2) 事務局長の雇用期間延長(案)承認の件  
(3) 保育園運営管理規程の一部改正(案)承認の件  
(4) 非常勤職員就業規程の一部改正(案)承認の件  
(5) 第2次資金収支補正予算(案)承認の件
- 【第4回】 期日 令和5年3月28日  
会場 グランドホテル  
出席 理事、監事、園長 15名  
内容 (1) 専決処分報告 第3次資金収支補正予算承認の件  
(2) 業務執行状況報告承認の件  
(3) 第2次中長期計画(案)承認の件  
(4) 役員等賠償責任保険契約更新承認の件  
(5) 令和5年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)承認の件

## 3. 三役会議 (理事長・副理事長・常務理事)

- 【第1回】 期日 令和4年5月25日  
会場 子育て支援センターあいあい  
内容 ○ 各施設決算・中長期計画3年度分析・4年度重点行動計画
- 【第2回】 期日 令和4年11月22日  
会場 内越保育園  
内容 ○ 理事会提出議案・人事異動・中長期計画案・役員改選等
- 【第3回】 期日 令和4年12月27日  
会場 子育て支援センターあいあい  
内容 ○ 人事異動・日程・中長期計画・不適切な保育
- 【第4回】 期日 令和5年1月23日  
会場 子育て支援センターあいあい  
内容 ○ 中長期計画・人事異動・職員定期昇給
- 【第5回】 期日 令和5年1月27日  
会場 子育て支援センターあいあい  
内容 ○ 中長期計画見直し(案)人事異動・日程
- 【第6回】 期日 令和5年2月17日  
会場 子育て支援センターあいあい  
内容 ○ 定期人事異動、理事会提出議案・日程

【第7回】 期日 令和5年3月14日  
 会場 子育て支援センターあいあい  
 内容 ○ 理事会提出議案・辞令交付式・日程

4. 中長期計画検討委員会 7回 委員8名

5. 監事会及び各施設監事監査

期日 令和4年5月25日、27日・30日・31日  
 会場 子育て支援センターあいあい・各園  
 出席 監事会 監事・3役 監査監事3名・常務理事

6. 意見・要望等の相談解決に係る第三者委員会

期日 令和4年11月22日  
 会場 内越保育園  
 出席 第三者委員、三役・各園園長・主任 16名  
 内容 各園において受付した意見・要望について事例報告と、第三者委員からのアドバイス、対応のあり方などについて協議。

7. 五園園長会議 (於：子育て支援センターあいあい)

期日	令和4年 4月 7日	令和4年 5月 10日
	令和4年 6月 6日	令和4年 7月 8日
	令和4年 8月 8日	令和4年 9月 6日
	令和4年 10月 7日	令和4年 11月 7日
	令和4年 12月 6日	令和5年 1月 6日
	令和5年 2月 8日	令和5年 3月 7日

8. 五園主任会議 (於：子育て支援センターあいあい)

期日	令和4年 4月 8日	令和4年 5月 11日
	令和4年 6月 7日	令和4年 7月 11日
	令和4年 8月 9日	令和4年 9月 7日
	令和4年 10月 12日	令和4年 11月 10日
	令和4年 12月 7日	令和5年 1月 10日
	令和5年 2月 9日	令和5年 3月 8日

9. 五園専門委員会及び研修事業

・下記専門委員会等を随時開催し、業務の円滑な推進と課題の解決に向けた活動を展開した。

○園長協議・園長主任合同協議 (於：子育て支援センターあいあい・内越保育園)

期日	令和4年 5月 10日	令和4年 6月 6日
	令和4年 7月 8日	令和4年 8月 8日
	令和4年 9月 6日	令和4年 10月 7日
	令和4年 11月 7日	令和4年 11月 22日
	令和4年 12月 6日	令和5年 1月 6日
	令和5年 2月 8日	令和5年 3月 7日

○研修委員会 (於：子育て支援センターあいあい／8名)

期日	令和4年 6月 1日	令和4年 6月 21日
	令和4年 10月 19日	令和4年 12月 12日
	令和5年 1月 11日	令和5年 2月 20日

○給食研修委員会 (於：子育て支援センターあいあい／12名)

期日	令和4年 6月 20日	令和4年 9月 2日
	令和4年 11月 14日	令和5年 1月 20日

○事務会議（於：子育て支援センターあいあい／7名）

期日 令和4年 4月 6日 令和4年 10月 17日  
令和5年 1月 17日

<役員・評議員研修への取り組み>

○財務研修及びコロナ感染状況報告

期日 令和4年 11月 29日

会場 本荘グランドホテル

出席 役員、評議員、各園長 24名

内容 事務局より、令和3年度決算に係る財務指標分析の説明、石脇福祉会の財務状況や類似法人との比較、経営課題を把握する。

<職員研修への取り組み>

☆五園合同研修

<保育研修> テーマ「職員の資質向上」

◇サブテーマ「子どもの心を見つめ合い、保育の質を高めよう」

・保育士、栄養士としての専門性を高めることにより保育の質を高めるための研修を実施

○公開保育

▼年齢別にフリー公開で、それぞれの園に応じて実施。新型コロナウイルスの状況を踏まえ、時間指定・短縮・参加人数等の調整により密を回避

\*成果

・予想される子どもの姿に、保育者の関わり方や職員の連携の仕方等を振り返り、今後の保育について話し合いの場を持たせたほか、ポイントを絞った視点で参観

\*課題

・フリーとしたため参加者が少なく日程の調整を要した

・学んだ事を日常の保育にどう生かすことが出来たか

○保育体験・食育実習

▼新任保育士は自園での育成を行い、2年目以降の職員を対象とし、給食実習は各園の状況に応じて2回に分けて実施

\*成果

・受入により他園の職員の育成につながり、五園全体で行う人財育成の意義と同じ方針の下、温かく育成していく大切さを確認できた

・事前に体験職員と研修委員で学びの視点を確認した上で実習でき、自身の保育に活かそうとする意識にも繋がった

\*課題

・事前打ち合わせ・振り返りを更に充実させ、より実践に活かしやすいようにしていく

○育成計画・フォロー研修・自己評価

▼経験年数によるグループ分けをして実施

\*成果

・経験年数が近いことで悩みを率直に出せるようになり、課題も共通化し、解決の糸口を見出すことにつながった。

・コロナ禍により交流の場も減っている中、悩みを共有出来た貴重な時間となり明日からの仕事の糧になる話し合いができた

\*課題

・育成職員・新任職員とも安心して働ける環境を整え、丁寧な見守りを継続し、園全体で新任職員を見守り関わっていく事が大切

・育成側と新任職員の年齢が逆転するケースも、いい関係での意見交換ができている・・・研修委員の立場からも細やかな配慮・関わりが必要

○OJT研修

▼副主任、リーダー的中堅職員が、指導・育成担当者として、人財育成の意義や方向性、基本的な役割・スタンスの理解を深め、職場での実践スキルを学んだ

\* 成果

- ・ 介護職等の異業種の職員と学びの場を持た
- ・ 新任等の若年職員との関わり方を学べた

\* 次の世代のミドルリーダーにも学びの機会を持ち、各園でも育成実施が必要

○五園合同研修会

「乳幼児期における遊びの重要性」

－なぜ「遊びを中心とする保育」？－

講師：元秋田大学教授

奥山順子氏

- ・ 遊びは遊ぶこと自体が目的であり、安心して伸び伸びと遊ぶために子どもが自発的に学ぶことができる。子どもが見ている世界を同じまなざしで理解し、一人ひとりの興味・関心、その子らしさを大事にした保育が大切である
- ・ 存分に遊び、充実感や満足感を味わうことで、これから生きていく力へとつながっていく。主体的な遊びを支え、共に遊びを楽しみ、共に学ぶ存在でありたい

◇外部研修派遣

- コロナ禍の影響により一部を除き外部研修はリモート研修が定着し、各職員の受講機会の確保につながった

10. 地域交流事業

◆コロナ禍による影響で中止や縮小が相次ぐ中、持ち方を工夫しながら実施に努める

- ふれあいの日園庭開放(未就園児)・・・一部中止
- 小・中・高生のボランティア、職場体験学習受入・・・中止
- 看護・保育短大等の実習生受入
- 小学校交流
- 高校生との交流会
- 老人クラブとの交流・・・中止
- 田植え、稲刈り体験
- ヤートセ交流会・・・園内実施
- 学童クラブ情報交換会
- 石脇地区各種団体交流会・・・中止
- 地区文化祭・敬老会(ビデオ参加)・お祭り等への参加・・・中止
- 地域との総合防災訓練・・・縮小して実施
- 人権学習会(人権擁護委員会/各園)
- 未就園児の集い(石脇地区民生児童委員と協賛)・・・中止
- 七夕・ハロウィン・クリスマス地域交流・・・縮小して実施
- あいあい遊び講座、子育て相談・・・内容を工夫しながら実施
- 絵本読み聞かせボランティア受入
- ありがとうの会・・・縮小して実施
- 市民まつり絵画出展
- 本荘街中ひなめぐり展示
- 小学校運営協議会、高校評議員会、幼保小連絡協議会など

◆事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成していない。